

感染症情報 12月9日～15日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1517例(堺市	61例)
②溶連菌感染症	691例(堺市	80例)
③RSウイルス感染症	123例(堺市	3例)
④咽頭結膜熱	121例(堺市	10例)
⑤伝染性紅斑	110例(堺市	6例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 2500例(堺市 448例)

感染症報告数は前週比4.5%増の2,837件であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して6%増、堺市で12%減であった。溶連菌感染症は府下で前週と比較して10%増、堺市で83例→80例は4%減であった。RSウイルス感染症が府下で7%減、堺市は前週13例→今回3例であった。咽頭結膜熱が府下で前週と比較して7%減、堺市で前週と同数であった。伝染性紅斑は府下で13%減、堺市で2例→6例であった。

インフルエンザが府下で前週1165例→今回2500例は115%増で、定点当たり3.87→8.31である。堺市では前週242例→今回448例の85%増で、堺市の定点当たりは8.34→15.45となり、引き続き、大阪府のブロック別で一番多い。

堺市教育委員会公表の19日正午現在の学年閉鎖は<堺区>錦小2年、少林寺小6年、<南区>上神谷小5年、若松台小2年、<北区>光竜寺小4年、学級閉鎖は<堺区>市小6年、新湊小1・3・5年、<中区>深井小5年、東百舌鳥小5年、久世小3年、<西区>浜寺東小4・6年、上野芝小2年、家原寺小3年、鳳小1・2年、鳳南小1・3年、向丘小6年、福泉上小2・3年、<南区>福泉中央小3年、若松台小1年、美木多小2年、泉北高倉小1・2年、美木多中1年、<北区>五箇荘小1・2年、新金岡小4年、金岡南小3年、長尾中2年、金岡南中2年、<美原区>美原西中2年であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。